

エピソード

ツマグロヒョウモンの^{さなぎ}蛹が植木鉢についているのを A ちゃんが見つめました。それから毎日園庭に出るたびに植木鉢の方へ駆け寄っては蛹をじっと見ていました。「まだ蛹だ」、次の日も「まだ出てこないね」とつぶやいていました。そのうちに B くんも同じように蛹を見て、「チョウチョになるの」と話しました。それを聞いて A ちゃんは蛹を見ながら「この下のほうから出てくるんじゃない」と話していました。ある月曜日、園庭に出ると、B くんが「いなくなった」と保育者に伝えにきました。A ちゃんは「ん？揺れてるね」とまだ蛹がいなくなっていることに気付いていなしようでした。B くん「いないよ」と蛹が出て皮が破れているところを指さしています。A ちゃん「あれ？いない…」とじっと蛹を見ながら「チョウチョになった!」と言いました。その後、チョウチョを見つけると「あ、チョウチョ!」と興味をもって見ていました。

子どもの育ちや学び

蛹を見つけて、興味をもって見ている。
(興味・関心)

蛹だ

蛹がいなくなっていることに気がき、チョウ
チョになっていることを知る。
(変化に気付く・変化に心が動く)

まだ出てこないね

・チョウチョが幼虫から蛹になりチョウチョになることを
知っている。毎日観察している。

(期待をもって見る・継続)

チョウチョになった

保育者の思い

・“蛹”ということを知っていて興味をもっていたので、毎日遊ぶ園庭でチョウ
チョの成長を近くで感じてほしいと思いました。

・園庭に出ると蛹を見るために駆け寄っていく姿を見守りました。また、保育者
も一緒にチョウチョの成長を楽しみにする気持ちを共有しました。

・蛹の皮が破れて中に蛹がいなくなっていることに気付いた姿を見守りまし
た。チョウチョの姿はありませんでしたが、チョウチョになったということが分か
っている子どもたちの思いに、保育者も共感しました。また、とんでいるチョウ
チョを見て、自分たちが見ていた蛹と重ね合わせているところに心が温まりま
した。

お家の方へ

身近にいる生き物に興味をもっている子どもたち。毎日園庭に出ると蛹の
そばに駆け寄る姿から、愛着をもって見ているんだな
と思いました。生き物の成長や変化を感じていま
したよ。